



イエスはわたしたちによるこびを もたらすためにこられました

いつもよろこんでいなさい、たえずいのりなさい、
どんなことにもかんしゃしなさい。これこそキリスト・イエスにおいて
かみがあなたがたにのぞんでおられることです。(1テサロニケ 5:16-18)



しとパウロは、さいしょのキリストきょうどうたいにあてた
てがみのなかで、イエスがちじょうにこられたことを、かみ
にかんしゃし、よろこびのうちにいきるたくさんりのゆうが
あることを、いつもおもいださせています。



イエスの母であるマリアさまは、おなじようにこ
どもをまっていた、いとこのエリザベスにあった
とき、すべてのできごとをたいして、たましいが
よろこびでみたされているのをかんじました。



イエスはマリアにうまれるこどもで、へいわとせいぎをもた
らし、まずしいひとびとをたすけ、かねもちやけんりよくの
あるひとびとをからてでおくりかえすでしょう。マリアはイ
エスをうけいれ、かみさまに「はい」とこたえました。



リカルドはミラノこうがいのちいさなむらにす
んでいます。かれはママといっしょにでかける
とき、いえのまえのテラスにすわっているねん
ばいのおじさんによくあいます。



このおじさんは、リカルドがとおるかかるときに、「こんにち
は！」とげんきよくあいさつします。かれはよいひとのようです
が、かなしそうです。なんどがこんなことがあったあと、「さび
しいのかもしれない、ともだちがほしいんだ」とおもいました。



それで、あるひのごご、リカルドはともだちとあ
そびていくかわりに、ママにそのおじさんのと
ころにいっしょに行くようにたのみ、ふたりはおじ
さんにあいこいきました。おじさんはほんとうに
よろこびました。